

1月8日（木曜日）

学校に子供たちの元気な声が返ってきました。14日間の冬休みを終えて、3学期が今日から始まりました。始業式での私の話を伝えします。「1学期は71日、2学期は82日授業がありましたが、3学期は学年にもよりますが約50日です。とても短い3学期の、一日一日を大切にしましょう。学期始めに目標を立てます。立てた目標が達成できるようにコツコツと努力しましょう。3学期が始まると同時に、次の学年の0学期も始まりました。進級した時に頑張ろうではなく、今を大切にしてください。」そして、全学年にエールを送りました。子供たちに私の思いが通じていることを願います。学校長



1月9日（金曜日）

3学期初めての「読み聞かせ」がありました。ボランティアの方に全ての教室に入っていたり、子供たちは静かに話を聴いています。読み聞かせ後に私は図書室に行き、12月に行った保護者の「学校評価」についての話をしました。質問項目「子供は、読書好きになっていますか？」について、「よくあてはまる・ややあてはまる」と回答した保護者の割合を説明しました。令和5年度45%、令和6年度59%、令和7年度67%と数字が右肩上がりになっているのです。読み聞かせボランティアの方々のお力添えも、かなりこの数値に反映されていることが高まります。ちょっとした時間に、読書する子供たちがもっともっと増えることを望んでいます。学校長



1月13日（火曜日）

今日から給食が始まりました。そして6年生と校長室で「会食」も始まりました。卒業を前に私と会食し、小学校生活の思い出の一つとするとともに中学校生活への激励をしたいと考えています。今日は、男女混合で6人が来室しました。ふだん入ることのない校長室ですので、子供たちには少し緊張感があります。6年間で一番心に残っていることや中学校に入学したら入りたい部活動のことなど、給食を食べながら聞きました。「1年生の時の運動会が、一番心に残っています。」と言った子供がいます。理由を聞くと、その時だけ優勝したからだそうです。それから5連敗、トータルで1勝5敗だそうです。これからも楽しみです。2月上旬まで「会食」は続きます。学校長



1月14日（水曜日）

昨日から書き初めの「競書会」が始まっています。昨日は、3年と6年、今日は4年と5年が体育館で行いました。体育館内はとても寒いので、大型ストーブに火が入っています。ストーブの「ゴー」という音だけが、体育館から聞こえてきます。子供たちは一心不乱に書き初めをしています。集中力を高め、できるだけ満足できるそして納得できる作品にするために、一生懸命取り組んでいる姿はとても美しいものです。よい作品を市内書き初め展に出品します。来週土曜日の学校公開では「校内書き初め展」を行いますので、ぜひ来校ください。学校長



来週土曜日の学校公開では「校内書き初め展」を行いますので、ぜひ来校ください。学校長

1月15日（木曜日）

風もなく陽ざしがたっぷりあって、穏やかな日です。4校時は、2・3・4年生が運動場で体育授業をしています。スピーカーからは楽しそうな曲が聞こえ、子供たちはリズム縄跳びをしています。縄によって埃が立ちましたが、そんなことはお構いなしで一生懸命に跳んでいます。縄跳びは、心肺機能や体幹の強化、リズム感や集中力の向上など、身体的・精神的な成長に多くのよい効果をもたらします。ご家族で一緒にやってみてはいかがでしょうか。学校長



1月16日（金曜日）

朝から気温が高くなり、季節外れの暖かい日になりました。今朝は「体育朝会」がありました。全校でリズム縄跳びをします。難しい動きについて体育主任から説明があり、体育部の教員が実演してわかりやすく教えていました。曲に合わせて縄跳びが始まりました。縄が足に引っかかってしまうのも構いません。ただ、すぐに活動を始めることが大切です。リズム縄跳びを初めて行った1年生も、楽しみながら跳びきました。朝からよく頑張りました。学校長



1月22日（木曜日）

5校時に武蔵中学校の教員が2名来校し、6年生の2クラスに対して出前授業をしてくださいました。少しだけ中学校の勉強を先取ることで、少しでも安心感が持てたらということで6年生のために来てくださいました。1組が理科でいろいろな「実験」を、2組が技術で「製図」を学びました。理科では演示実験として「水素爆発」や子供自身が「雲のでき方」について学びました。水素爆発の実験ではとても大きな音が出て、私自身が驚きの声を出していました。技術では、ものの見方として等角図や正投影図を学び、実際に三角法による正投影図を書きました。難しい言葉をやさしく教えていただき、子供にとってよい学びになりました。あと2か月と少しで中学生になる6年生にとって、刺激があった学習でした。ありがとうございました。学校長



難しい言葉をやさしく教えていただき、子供にとってよい学びになりました。あと2か月と少しで中学生になる6年生にとって、刺激があった学習でした。ありがとうございました。学校長

1月23日（金曜日）

いよいよ5年生の味噌づくりが佳境に入っています。1学期から2学期にかけて自分たちが育てたイネ（米）や大豆を使って作っていきます。昨日は米を蒸して麹づくりをしました。それを発酵機に入れて発酵させます。次は大豆をよく洗います。今日は運動場の隅で大きな釜に水をたっぷり入れた後、大豆を煮始めます。朝から釜に火をつけ長時間煮込み、4校時に5年生が試食しました。大豆にもかかわらず、「イモの味がした。」という声には?となりました。「大豆っておいしい。」の声がほとんどでした。明日は学校公開日になっており、保護者の方に味噌づくりを見ていただきます。明日作り終える味噌は、しっかりと熟成させ、約1年後に子供たちの手に渡ります。加藤ファームの加藤さんやボランティアの方々、本当にありがとうございます。学校長



明日作り終える味噌は、しっかりと熟成させ、約1年後に子供たちの手に渡ります。加藤ファームの加藤さんやボランティアの方々、本当にありがとうございます。学校長

1月24日（土曜日）

本日は学校公開日となっているため、2・4校時（5年生のみ1・2校時）に授業を参観していただきました。子供たちがよく頑張っている姿を見ていただき、ありがとうございました。そして3校時には「健康委員会（学校保健委員会）」の講演がありました。埼玉ヤクルト販売株式会社から講師をお招きし、「早ね・早起き・朝ごはん・朝うんち」というお話を聞いていただきました。30名以上の保護者の方だけでなく、小さなお子さんにも参加していただきました。ユーモアを交えながら、時おりクスッと笑わせてくださいり、



45分があつという間に感じました。年間100本以上の講演をしているとのことで、人を引き付けるお話をしました。夜は早くに寝て朝早く起きることが大切、朝ごはんをしっかりと食べることで便が出やすい、朝うんちが大切、毎日便が出ている子供は感染症のリスクが低い、体を温めることで運動機能が高まるので朝ごはんは温かい食べ物や飲み物が必要、等たくさん話していただきました。ありがとうございました。学校長

1月27日（火曜日）

講話朝会がありました。小学生には少し難しいかなと思いましたが、森信三先生の言葉「時を守り場を清め礼を正す」について、話しました。『時を守り…自分が時を守ることで、相手のことを大切にすることにつながる。場を清め…きれいにすることと、周りの人のことのことまで考えることにつながる。礼を正す…相手を大切に思って、正しいふるまいをすることにつながる。』実はこの3つは「当たり前のこと」です。当たり前のことを、当たり前に続けることが大切です。当たり前のことができる子供たちを、狭山小の先生方は育てていきます。これで締めくくりました。学校だよりの2月号に掲載してありますので、ご家庭でも話をわかりやすく子さんにお話しいただけると幸いです。学校長



1月28日（水曜日）

年間に6回予定されている「たてわり遊び」ですが、今日が5回目になります。これまで6年生がリーダーシップを発揮して、遊びを考えていました。またグループを整列させるのは、5年生が行っていました。しかし今からは5年生が遊びを考え、4年生が整列させます。引継ぎをしながら次年度に向けての活動が始まっています。いろいろにやふえおに、だるまさんがころ転んだ、ドッジボールなど、みんなが仲よく楽しく遊んでいます。たてわり活動を通して、異学年との交流の中で「思いやりの心」が育っています。最終回は2月10日になります。学校長



1月29日（木曜日）

3・4校時に2年生のクラスが、1時間ずつ「ポップコーン作り」をしました。ゲストティーチャーとして入間ガスから2名来校し、狭山小農園で育てたポップコーンの種を使って作りました。「ポップコーンが、なぜはじけるのか？」について教えていただいた後、ゲストティーチャーが作るのを子供たちは見ていました。油が入っているフライパンを熱したあと、種を入れてふたをします。いいにおいがしてきただと思ったら、勢いよく2つ3つがはじけ始め、あつという間にフライパンいっぱいのポップコーンができ上りました。「ポップコーン、あったかくておいしい。」の声が上がりました。入間ガスさん、ありがとうございました。学校長



1月30日（金曜日）

2校時に4年生が、総合的な学習の時間「コミュニケーションを広げよう」の单元で、福祉体験を行いました。入間わかくさ高等特別支援学校から3名の教員が来校し、「ボッチャ」を教えていただき、ゲームを楽しみました。ルールは、ジャックボールと呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ6球ずつのボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当たりして、いかに近づけるかを競うものです。特別支援学校対狭山小学校で、教員がデモゲームを行いルールを周知させました。やり方やルールを理解したあと、いよいよ子供たちがゲームをします。どちらの色のボールが、白いボールに近いかを競います。最後の1球で勝負が決まることもあり、大盛り上がりです。寒い体育館内でしたが、歓声が上がったり拍手が起きました。「障害者スポーツを知ることができました。」、「思っていたより難しかったけど、とても楽しかったです。」、「障害のある人も楽しめるスポーツがあることがわかりました。」など、授業の振り返りをしました。「障害のある方に対して優しい心で、気遣いをもって接してください。」という特別支援学校の教員の言葉が心に残りました。学校長

